

令和元年度(平成31年度)地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	中山道鳥居峠美しいトレッキングコースづくり事業
事業主体 (連絡先)	中山道鳥居峠観光宣伝協議会(木祖村観光協会) (0264-36-2543)
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大に関する事業 ア特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	408,996円(うち支援金:311,000円)

事業内容

塩尻市ならびに木祖村と両市村観光協会で構成される協議会では、関係者共通理解のもと、中山道鳥居峠の環境整備を進めてきており、今年度は新元号記念植樹と題して鳥居峠両入り口にカエデを植樹した。

また長野県が推進する「山岳高原観光振興」に向け、中山道鳥居峠の歴史ある文化遺産や観光資源を活用した積極的な誘客促進事業を展開し、外国人向けツアー広告を掲載。

- ・景観整備事業 鳥居峠両入り口にある「石畳」周辺にカエデ22本を植樹
- ・誘客促進事業 ツアー広告6ヶ月(4~9月)掲載



【記念植樹の様子】

【目標・ねらい】

- ①積極的な誘客による観光振興
- ②美しいトレッキングコース保持
- ③交流事業連携

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①外国人向けツアー広告掲載により宿場関係者の鳥居峠を活用した誘客と地域活性化やインバウンド対応への意識強化、観光資源としての共通認識を高めることができた。
- ②植樹により石畳の遊歩道周辺の景観が保たれた。
- ③両市村の共通財産である鳥居峠に関わる事業を連携して進めることで、行政間の枠を超えた関係者の交流や活性化につながった。

※自己評価【B】

【理由】

広告により多くの方への告知が進み誘客が図られた。また石畳遊歩道周辺の植樹により美しいコースを保つことができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

積極的な誘客促進の継続、美しいトレッキングコースの景観整備を継続し、安全で自然と歴史が調和した観光資源、史跡として保全していきたい。今後も継続した植樹事業を実施していく予定。両市村宿場関係者との連携を深めるとともに、木祖村が推進する「木曽川上下流交流事業」、塩尻市が中心となって推進している「街道交流事業」の交流事業連携による中山道DMOへ発展させたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある